

福山八畳岩

～古代山陽道を眼下に、備中の歴史を
ずっと見守ってきた磐座～

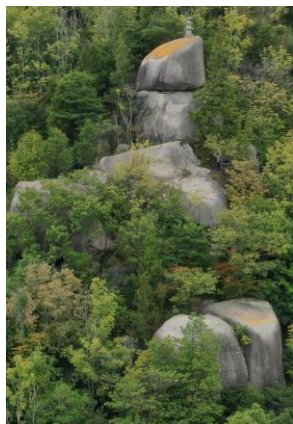
目次

1. おすすめポイント
2. 説明
3. 現地写真
4. 「鳥の目」で
5. アクセス

資料
番号

K26

初版：2026.2.17



1. おすすめポイント

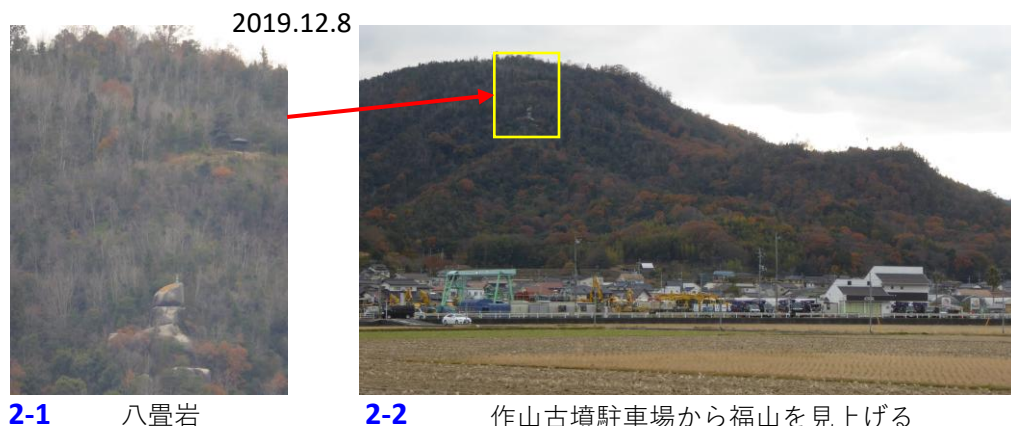
★巨石テラスの上からの眺めは格別！
全国4位と10位の巨大前方後円墳（造山古墳と
作山古墳）も視界の中
備中を代表する遺跡の数々を見つけてみて下さい！

2. 説明

管理人がこの磐座を知ったのは**作山古墳**を訪れたときでした。駐車場に車をとめて、ふと見上げると山（福山）の中腹にはっきりとした「**塔のような岩**」が目に入りました。即座に「磐座」とであると確信（図2-1、-2）。

東の日差山からここ福山にかけての山上は**報恩大師**の時代（8世紀）、吉備の聖なる山、修行の場であったようです。

この岩には**摩崖仏**が彫られていることや、頂部に**石塔**が据えられていることから、聖なる岩（磐座）とされてきたことは間違いのないと思われます。どうでもよい岩にそのようなことはしませんから。



後日、この岩（「八畳岩」）を改めて訪れたときには小学生が遠足に来ていました。テラス状になった岩の上からは「吉備路」が一望できます（眼下を**古代山陽道**が横切っている）。子供たちは「うわー」と歓声をあげて絶景に見入っていましたが5分ほどで次の目的地に向け出発して行きました。

「ちょっともったいない!」、この絶景の中にいったいどれだけの吉備の大きな歴史イベントの跡があることか（5頁参照）！ この磐座はずっとここで見守ってこられたわけです。

「みんなは凄い歴史の宝庫の中で生活してるんだよ!!」

2020.10.11





3-1 八畳岩ふもとの東屋



3-2 巨石には摩崖仏

八畳岩足元の巨石には
摩崖仏が彫られています。
地元のお寺やゆかりの方々
によって今でも定期的に
奉斎されているようです。
尊いことです・・・



3-3 観音



3-4 毘沙門天



3-5 定期的に奉斎されている方からのメッセージも



3-6

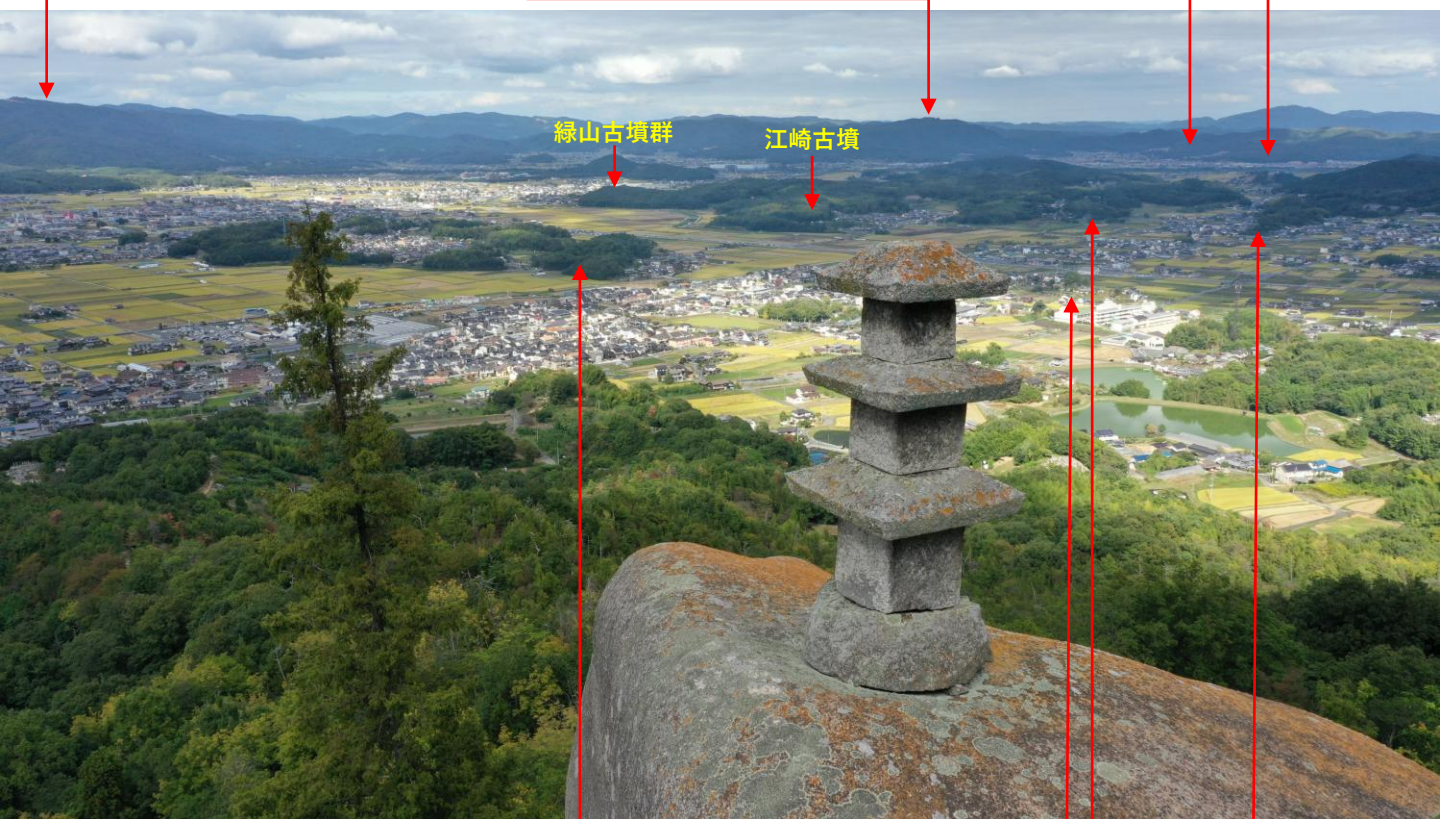
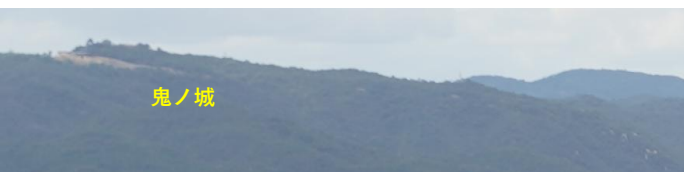
巨石テラスの上からの眺め（北北東方向）



3-7

頂部には3層の石塔が据えられています

備中の歴史を見守り続けてきた八畳岩



3-8

※ドローンによる撮影です。決して登ろうとしないでください。

4. 「鳥の目」で

2020.10.11



4-1

まるで「塔」のよう



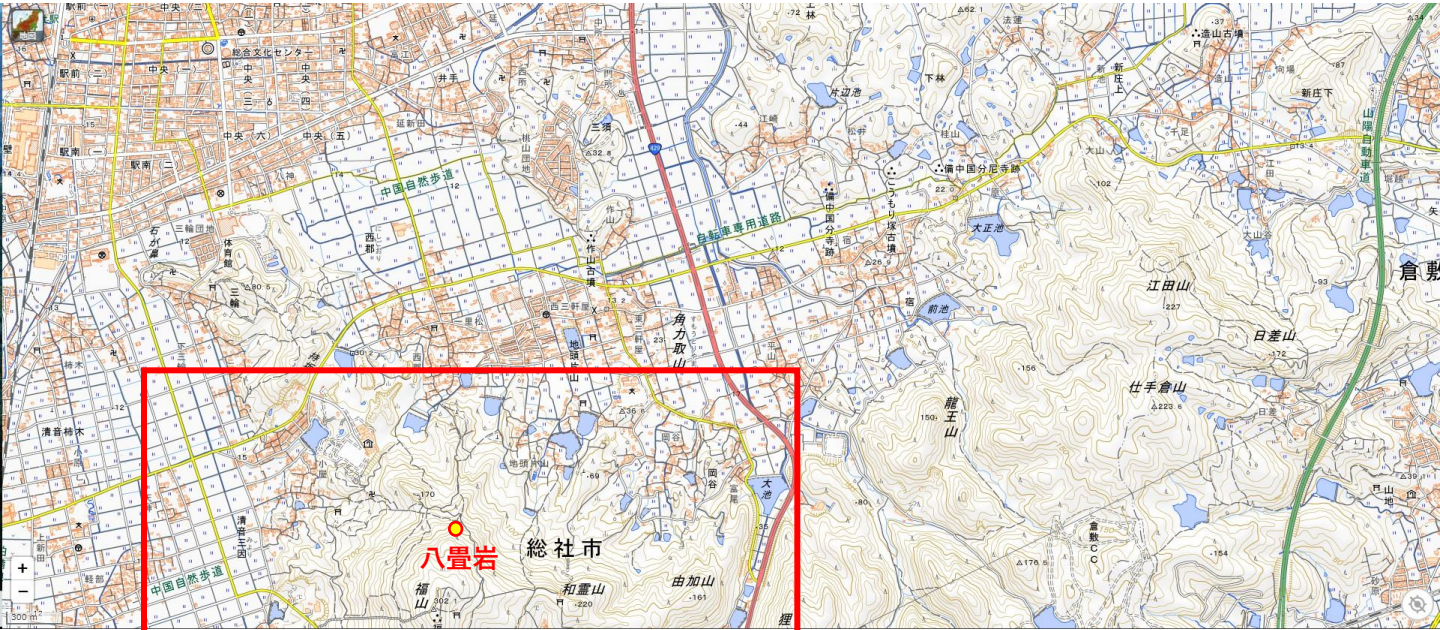
4-2

北側斜め上空から

東屋

摩崖仏が彫られている岩

5. アクセス



5-1

地理院地図に赤で追記



5-2

地理院地図に赤で追記